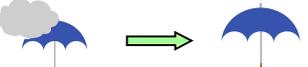
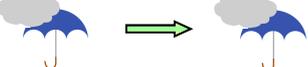
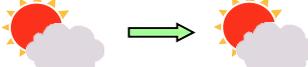
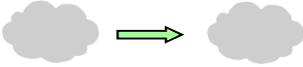


【産業動向概要】

産業全体 	<p>2014年8月を中心とした県内経済は、個人消費は消費税増税の影響を受けており、自動車や新設住宅着工なども前年を下回り、企業の生産活動にも弱い動きがみられるが、輸出には持ち直しがみられ、雇用・所得環境も改善傾向にあることから、穏やかに回復している。</p>		
観光・旅館業 			<p>伊豆地域の夏休み期間の宿泊客数は概ね前年並みか増加傾向、また観光施設への入場者数も概ね堅調に推移。一方で、海水浴客数は台風の影響などで前年比▲13.7%減と大幅に減少した。</p>
紙類 			<p>古紙価格はプレミアム価格もみられるなど高止まり。県内再生紙物トイレ紙メーカーは需要減が続くも収束しつつあるとの指摘もあり、製品価格は上昇傾向が継続。段ボール原紙は出荷高が横ばい、メーカーも価格修正に取り組んでいる。</p>
	家庭紙 	板紙 	
水産業 			<p>主要漁港全体の水揚量は前年比3.4%増。うち焼津港の水揚量は、主要魚種であるカツオ類の増加により、全体では前年比6.6%増。清水港はマグロ類の水揚げが増え、前年水揚量を16.7%上回った。沼津港は前期同様、サバ類の大幅減少が影響し、前年水揚量を下回った。魚種単価は、マグロ類、サバ類が上昇した。主要漁港3港の総水揚高は、総水揚量、平均単価の上昇により前年比6.6%増。</p>
木材 			<p>県内の新設住宅着工は、駆け込み需要の反動減の長期化や、実質賃金の前年比マイナスなどを背景として住宅取得マインドが減退しており、4ヵ月連続してマイナスとなった。製材品等も在庫が積み上がっており生産調整が行われている。</p>
缶詰 			<p>県内のマグロ類缶詰の生産量は5四半期連続で前年比減、価格は引き続きやや上昇。コーン缶を含む農畜産缶詰の生産量は6四半期ぶりに減少に転じる。飲料缶類は7、8月の生産量が前年比▲10%以上減少、夏季の天候不順の影響が考えられる。</p>
	水産缶詰 	農畜産缶詰 	
	飲料缶類 		
楽器 			<p>主力のピアノは、引き続き生産台数、販売台数ともに前年実績を上回っている。電気・電子ピアノは、販売数量は昨年並みとなったが生産は2期連続の前年実績割れ。電子オルガンは生産、販売ともに好調さを堅持。電子キーボードは販売数量が前年割れ。</p>
	ピアノ 	電子楽器類 	

輸 送 用 機 器 			遠州地域の二輪車生産台数は、アジア、欧州などの輸出向けが伸びて14ヵ月連続で前年を上回った。自動車部品の7月の生産金額(全国)は、2ヵ月ぶりに前年を下回った。14年7月の静岡県の輸送機械工業の生産指数は、前年同月比で▲3.0%の低下。
	二輪車 	自動車 部品 	

				
明 る い	やや明るい	停 滯	やや不振	不 振

《産業別天気マークの推移》

 明るい
  やや明るい
  停滞
  やや不振
  不振

調査対象時期 (公表時期)	12/8 (12/10)	12/11 (13/1)	13/2 (13/4)	13/5 (13/7)	13/8 (13/10)	13/11 (14/1)	14/2 (14/4)	14/5 (14/8)	14/8 (14/10)
概況 		→			→				
観光・旅館業 						→		→	
紙類 			→					→	
水産 		→							
木材 		→					→		
缶詰 		→							
楽器 			→		→			→	
輸送用機器 		→							